



最上総合支庁長就任のご挨拶

私は、最上総合支庁での勤務は初めてですが、この地域には農業をはじめ豊かな自然の恵みと、とても温かい人柄という印象を持っています。こうした特長を活かしながら、全国的な課題である人口減少対策にしっかりと取り組み、この地域の発展に貢献したいと考えています。

具体的には、若者定着・人材確保を最重点テーマとして、まつりや雪、地域の美食・美酒・温泉を活用した観光振興・インバウンドの推進、産業人材や医療・介護人材の育成・確保を進めるとともに、“強い農業”“森林ノミクス”の推進、高速道十字連携軸の整備促進など総合的な取り組みを、市町村としっかり連携して進め、活力ある最上地域の創造、「やまがた創生」の実現に全力で取り組んでまいります。

よろしくお願いたします。

最上総合支庁長 須藤 勇司



知事と若者の地域創生ミーティングin舟形町

3月28日（水）、「知事と若者の地域創生ミーティング in 舟形町」を舟形町の長沢集学校で開催し、舟形町内の20～40歳代の男女10人が知事と意見を交わしました。

参加者からは、自分の住む町をよりよくするために、「企業・企業家の誘致」、「都会からの移住事業」、「産業・商業による地域活性化」といった、自分たちが取り組んでいきたいことについて発言がありました。

最後に吉村知事は、「『この地域をどうやって活かしていくか』は、皆さんの力に掛かっている。皆さんの力でこれからを切り開いてほしい」と話しました。



いきいき企業訪問

また、ミーティングに先立ち「いきいき企業訪問」と、「知事のほのぼの訪問」も行われました。いきいき企業訪問では、株式会社キリウ山形を訪問しました。株式会社キリウ山形は、自動車用ブレーキディスク等を製造し、日産・ホンダ・スバル等に納入しています。素材鑄造から機械加工まで一貫生産を行っている企業です。

吉村知事は、会社の事業内容等の説明を受けた後、製造現場を視察しました。



知事のほのぼの訪問

知事のほのぼの訪問では、内山地区の「内山いきいき水曜会」の皆様と交流しました。会の皆様から普段の活動のお話を聞き、「いきいき百歳体操」を体験した後、和やかに歓談しました。



ジモト大学スペシャルプログラムの開催

3月12日(月)、最上を元気にする匠サミットが開催されました。大人と高校生の本気の対話を合言葉に開催してきたジモト大学！今回の大人は地域で創作活動を生業としている匠たちです。ミッションは匠の活動と生徒自身の部活動を掛け合わせた新しいアイデアを考えること。どんなアイデアが出るか全く予想できませんでしたが、匠たちの活動を体験するコーナーがあったり、匠のヒストリーを聞く場面があったり、まずはアイデアの素を集めました。最終的には「陶芸団体戦」や「わら人形選手権」など面白いアイデアがたくさん出され、笑顔あふれる会となりました。

連携支援室 29-1239



県立新庄病院改築整備基本計画が策定されました

【基本計画の概要】

○新病院の診療機能

- 地域救命救急センターの設置
- 診療科増設 緩和ケア内科、腫瘍内科、血液内科、精神科・心療内科、歯科、救急科、リハビリテーション科、腎臓・内分泌内科、総合診療科

●病床数 325床

- 充実する機能等 新庄市夜間休日診療所の機能移転、障がい児のフォローアップ、総合患者支援センター(仮称)の設置、患者図書室・駐車場(約850台、一部屋根付き)・ヘルプ等々の整備検討

○開院予定時期 2023年度

新年度は、新病院の建設に向けて、基本設計等に取り組んでいくことになります。

本計画の詳細は、総合支庁総合案内窓口や県ホームページでご覧いただけます。

[\(http://www.pref.yamagata.jp/ou/byoin/550001/\)](http://www.pref.yamagata.jp/ou/byoin/550001/)

保健企画課 29-1256

もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会 & もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会総会を開催しました

3月16日(金)、新庄市民プラザを会場に、「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会総会」「もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会総会」を開催しました。

看護師確保では、今年度の活動状況及び達成目標進捗状況報告のほか、潜在看護師掘り起こし、新人看護師教育体制周知、ふれあい看護体験等参加など、来年度の事業計画について協議を行いました。



保健企画課 29-1256

介護人材確保では、今年度の取り組み状況の報告や、来年度の事業計画について協議を行いました。

また、新庄コアカレッジ、ハローワーク新庄、介護労働安定センター、山形県福祉人材センターから、それぞれの取り組みの紹介があり、今後も介護人材の確保に向けて取り組んでいくこととしました。

地域保健福祉課 29-1276

最上地域全体による若者定着・人材確保対策検討会議を開催しました

人口減少に歯止めがかからない中、最上地域では、若年層の地域外への流出が大きな課題となっており、労働力の確保も深刻な問題です。これまで、各分野では既に地元定着・人材確保策に取り組んできたところですが、地域が一丸となって人口減少という危機的現状に立ち向かっていくことが必要となっています。

その第一歩として、3月22日(木)、経済・教育・行政などの関係機関が集まり、最上地域の現状や方向性の確認、関係機関の取組みの情報共有、今後に向けた連携方策を検討する会議を開催しました。5月をめどに、地元定着・地元回帰を促していくために関係機関で推進体制を整備し、取り組んでいくこととなりました。

地域産業経済課 29-1309



「もがみの農業を元気にする意見交換会」を開催

最上地域の「農業」の魅力を若い世代に発信するため、3月12日（月）、新規就農者や地元高校生、県立農林大学校生を対象に、「もがみの農業を元気にする意見交換会」を開催しました。

最上地域で活躍する若手農業者8名によるパネルディスカッションでは、「最上地域は農業法人も多くあり企業的な農業ができています。」「先進農業者への研修もあり、非農家であっても栽培技術を身に付けることができる。」など、経験を踏まえた多くの意見が出されました。

また、高校生や農林大学校生は、パネリストの生き生きとした姿と発言に大いに元気づけられ、「今年の春から就農する。今日は一般の参加者だが、今度はパネリストとして参加したい」等、力強い決意表明があり、

そのたびに拍手が湧き起こって会場は大いに盛り上がりました。

農業技術普及課 29-1326



衆議院災害対策特別委員会が大蔵村を視察



3月14日（水）、望月義夫委員長をはじめ、衆議院災害対策特別委員会の委員9人が、大雪による被害の実態調査のため来県し、大蔵村の被害状況等を確認しました。

大蔵村の肘折いでゆ館で開催された意見交換会では、家屋や農業用施設の被害、雪崩による通行止めなど、大雪による影響の説明がありました。その後、加藤大蔵村長から、除雪補助制度の支援、農業施設の雪

害対策などを求める要望書が望月委員長に手渡されました。

総務課 29-1360



第3回もがみ木質バイオマス熱利用検討会の開催

薪の利用拡大に向けて「第3回もがみ木質バイオマス熱利用検討会」を3月8日（木）に新庄市「最上広域交流センターゆめりあ」で公開講座として行いました。最上総合支庁事業で実施した薪ストーブ実証試験の結果報告を行った後、百年の森林事業を實踐している岡山県西粟倉村で、薪ボイラーを利用した温泉施設を経営している株式会社sonraku代表の井筒耕平さんより御講演いただきました。ローカルベンチャーや移住者が増え続けている西粟倉村は、森林資源が多い点で最上地域と共通しています。「数多いベンチャービジネスの1つとしてのバイオマスという流れで行う」「新たな存在価値を追求し顧客創造」という井筒

さんのお話を活かし、今後の木質バイオマス利活用を促進していきます。

森林整備課
29-1351



冬芽を楽しむ講座を開催しました

3月17日（土）、県遊学の森を会場に標記講座を開催しました。

当日は寒くもなく穏やかで、絶好の観察日和となり、やまがた公益の森づくり支援センターの白壁洋子指導員を講師に、16名の参加者ととともに県遊学の森の落葉広葉樹林を散策しました。

冬芽は樹木により違いがあり、葉になる芽と花になる芽が違うものや、猿や羊の顔に似ているものなど、バラエティーに富んでいて参加者を楽しませてくれました。次に、室内で冬芽を分解し、葉になる部分や花（おしべやめしべ）になる部分をルーペで観察しました。参加者からは、こんなにじっくりと観察したことがないとの感想が聞こえました。

森林整備課
29-1350



お知らせ

AMAZING
MOGAMI

驚かに自慢したくなる。
驚きに溢れた最上地域を感じる旅を提案。

amazingmogami.jp



もがみで最上(さいじょう)の旅を!!

(外国人旅行者向けウェブサイトamazingmogami公開・あがらしやれ最上ガイドマップ完成)

平成29年度に作成した外国人旅行者向けの最上まつりを核とした周遊ルートや、最上地域の祭りや文化、風習、景観、食など最上地域の“AMAZING”(=驚きの、驚愕すべき)な「暮らしぶり」を魅力的に伝えるウェブサイト「AMAZINGMOGAMI」をこのたび開設いたしました。最上地域の魅力を全世界へ発信し外国人の誘客を推進していきます。日本語、英語、中国語(繁体字・簡体字)に対応しております。是非皆さまも <http://amazingmogami.jp> にアクセスしてみてください。

さらに、新庄・最上の観光ガイドマップをリニューアル!!最上地域の幅広い魅力をお伝えする観光ガイドブック「あがらしやれ最上」を絶賛配布中です。こちらも併せてご覧いただき、もがみで最上(さいじょう)の旅をお楽しみください。

観光振興室 29-1311

山形日和。花回廊キャンペーン(4/1~6/30)がスタート!!

現在、JR東日本仙台支社とタイアップした観光キャンペーン『山形日和。』花回廊キャンペーンが全県で展開されています。4月1日(日)にはオープニングとして、新庄駅でお客様に対しておもてなしを実施しました。また、各駅では花の植栽によりお客様をお迎えしています。最上地域では、キャンペーン期間中、桜、新緑、歴史文化などの名所、温泉、美食・美酒のほか、特別企画などもりだくさん!!皆さまのお越しを心より待ちしております。



観光振興室 29-1311

第2回最上小国川写真コンテスト入賞作品紹介

最上小国川清流未来振興機構では、清流最上小国川の大切さについて、多くの皆さんに改めて気付いていただき、それを未来に伝える機運を醸成することを目的として「第2回最上小国川写真コンテスト」を開催いたしました。今月号では、ご応募いただいた作品の中から最優秀作品(左)、優秀作品(中央、右)をご紹介します。



作品名: 月明かりの温泉街
受賞者: 太田稔さん



作品名: ヤッター! ありがとう!
受賞者: 橋本政雄さん



作品名: 躍る若鮎
受賞者: 高橋秀一さん

連携支援室
29-1240

「看護師育成最上地域修学資金」平成30年度修学生の募集のお知らせ

各市町村で実施している「看護師育成最上地域修学資金」について、平成30年度の修学生を募集します。最上地域出身で看護師を養成する学校等に在学している方が対象で、一定の条件で返還が全額免除になります。

【申込期間】平成30年4月2日(月)から5月11日(金)まで

※詳しくは出身市町村の担当課へお問い合わせください。

保健企画課 29-1256

発行日: 平成30年4月1日

発行元: 山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口 電話: 0233-29-1360 FAX: 0233-23-2605

HP(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)でもご覧いただけます。





「自然と文明が調和した**新理想郷山形**」の実現に向け、「やまがた創生」の展開を強化し、**山形の価値を高め続けます。**

最上総合支庁 平成30年度当初予算の概要 総合支庁の予算 計 201,692 千円

1 農業ブランド大国「最上」のくにづくり 5,023 千円

- 地域の強みを活かした園芸作物等の生産拡大、最上传承野菜等の活用、産地直売所と連携した情報発信
 - 「もがみなら」の産地強化プロジェクト事業 418 千円
 - ・大規模栽培農家の育成、秋にら生産拡大による産地化の強化
 - 土地利用型野菜アスパラガス産地向上プロジェクト事業 142 千円
 - ・展示実証圃設置等による地域に適応した栽培技術の確立と普及
 - もがみ6次産業化総合推進事業 515 千円
 - ・産地直売所の取扱商品アイテムの充実、産直キャンペーンの開催
 - 次世代に繋ぐ最上传承野菜応援事業 611 千円
 - ・「最上传承野菜」の情報発信、次世代への継承や地域資源としてのブランド化の確立【一部新規】
 - 最上の食材発信強化事業 526 千円
 - ・もがみ地域特産品フェア（仙台圏、村山地域）や実需者向け産地見学会の開催



2 人と技術が活きる「最上」の産業づくり 17,818 千円

- 産学官連携やビジネス交流による地域企業の収益力強化の支援、産業人材の育成定着
- 新庄まつり等の歴史文化や有数の豪雪地という地域の特色を活かした、滞在型観光やインバウンドの推進
- 木材関連産業の推進、特用林産物の利用拡大、木質バイオマスエネルギーの利活用、みどりの循環システムの構築
- 最上地域ものづくり産業強化事業 他 910 千円
 - ・最上夜学等のビジネスマッチングの場の提供、女性社員のスキルアップ講座の開催等【一部新規】
- 魅力ある最上の仕事発信事業 2,000 千円
 - ・小中学生向けの最上の産業がわかるリーフレットの作成、企業情報の Web 等での情報発信等【新規】
- 地域産業を支える人材育成地域定着促進事業 他 757 千円
 - ・小中学校教員対象の企業見学会等の開催、女性社員と女子高生とのトークセッションの開催
 - ・若者・女性対象の創業に向けた講座の開催、起業家等の仕事・暮らしぶりの普及【新規】
- 広域観光推進事業 2,978 千円
 - ・最上地域の観光魅力向上をはじめとした地域一丸となった観光誘客、通過型から滞在型観光への転換と、持続可能な観光誘客の基盤づくり
- 新庄まつり等を核にした最上地域広域周遊ルートの磨き上げ・販売、滞在コンテンツ充実強化事業【新規】 7,000 千円
- もがみ薪プロジェクト推進事業 2,814 千円
 - ・木質バイオマスの熱利用拡大に向けた検討会等開催、栽培施設等での実証試験・・・等



3 安全・安心を支え交流・連携を推進する「最上」の基盤づくり 878 千円

- 高速道十字連携軸の形成、県管理道路の整備推進、「道の駅」の整備促進
- 最上小国川流域の治水対策の強化、風水害・土砂災害対策の推進、市町村と連携した避難対策や雪対策
- 高速道十字連携軸整備促進事業 **400 千円**
 - ・ 整備促進に向けた機運の醸成を図る「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会の開催
- 「道の駅」整備に向けた市町村への支援事業 **138 千円**
 - ・ 検討会の開催等による道の駅の整備促進に向けた市町村への支援
- 災害時の対応力強化 **340 千円**
 - ・ 自主防災組織の設立を推進するため、具体的な手法を学ぶワークショップの開催



4 住民がいまいきと暮らせる「最上」の地域づくり 4,623 千円

- 医療機関の連携体制の強化、医療・福祉を支える人材の育成・定着、健康寿命の延伸
- 結婚から子育てまで切れ目のない支援、多様な主体が連携・交流し活躍できる地域づくり
- 最上の人材育成地域定着推進事業（医療・介護） **546 千円**
 - ・ 医療従事者を輩出する環境を作るため、小中高生に対し動機づけ講習会等を開催
 - ・ 看護師の確保・育成及び定着に向けた「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会」の取り組みの推進
 - ・ 「もがみ介護人材確保推進ネットワーク協議会」の運営による介護職員の確保・定着【一部新規】
- すこやかもがみ健康づくりネットワーク事業 **415 千円**
 - ・ がん予防対策の啓発活動、生活習慣病予防対策の強化【一部新規】
- 最上地域発達障がい児等相談支援事業 **264 千円**
 - ・ 発達障がい児の早期対応、支援のための医師等による保育所等への巡回相談の実施
- 輝くモガティブウーマン発掘・発信事業 **711 千円**
 - ・ 高校生等向けの女性人材紹介や、一般女性向けワークショップによる社会参画への気運醸成【一部新規】
- 連携・協働による最上の地域づくり支援事業 **1,057 千円**
 - ・ 地域づくりや伝統行事の担い手確保育成団体に対する支援【一部新規】
 - ・ 地域づくりを支える人材育成のため、研修会、講師派遣などの支援
- 最上小国川清流未来振興事業 **1,500 千円**
 - ・ 最上小国川流域の新たな魅力や価値の創造を推進



本庁予算の主な事業

- 【県土整備部】
- 最上小国川流水型ダム整備事業 **1,373,870 千円**
 - ・ 最上小国川流水型ダムの早期完成に向け、ダム堤体工事等を推進
- 【病院事業局】
- 新庄病院改築整備事業 **48,405 千円**
 - ・ 建築後 40 年以上経過し、施設の老朽化・狭隘化や診療環境の改善が課題となっている県立新庄病院の改築整備に係る基本設計・実施設計を進める

